

全身型若年性特発性関節炎における

ステロイド関節内注射の有効性: 多施設共同後方視的研究

研究・実務責任者 所属 リウマチ科 職名 科長
氏名 中岸 保夫
連絡先電話番号 078-945-7300

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、中岸までご連絡をお願いします。

1 対象となる方

過去に当院にて関節型若年性特発性関節炎と診断され、ステロイドの関節注射の治療を受けた方

2 研究課題名

全身型若年性特発性関節炎におけるステロイド関節内注射の有効性：多施設共同後方視的研究

3 研究実施機関

兵庫県立こども病院

4 本研究の意義、目的、方法

若年性特発性関節炎 (JIA) の治療目標は、関節炎を早期に寛解させ、後遺症なく寛解を維持し、患者の生活の質 (QOL) を保つことである。JIA に対するステロイド関節内注射は、アメリカリウマチ学会から出された 2021 年のガイドラインでは、少関節炎型 JIA では「初期治療の 1 つとして強く推奨する」と記載されており、罹患関節数が少ない少関節型では良い適応となる。また多関節型 JIA でも患者の QOL を損なうような関節炎があれば、補助療法として適応となり得る。局所療法であるため、ステロイドやメトトレキサートなどによる全身性の副作用を減らすことができ、またその即効性から患者・家族の満足度は高い。

本研究の目的は当院リウマチ科及び東京都立総合小児医療センター腎臓リウマチ膠原病科で関節型若年性特発性関節炎に対して行ったステロイド関節内注射の効果、合併症、予後について、また効果の有無にどのような因子が影響しているか検討する。

5 協力をお願いする内容

カルテ上にある既存の臨床情報と血液検査結果を使用する。

6 本研究の実施期間

登録期間：臨床研究等倫理審査委員会承認後～2026年3月31日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切開示いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

リウマチ科 科長 中岸 保夫 連絡先電話番号 078-945-7300（平日9:00-17:00）

以上